

国 語

1 国語の授業の目標

社会生活に生きる言葉の力を身に付ける

2 身につけてほしい力

- (1) 構成を工夫して話したり、話し手の意図を考えながら聞いたりすることができる。
- (2) 構成を考えて文章を的確に書き、自分の考えをまとめることができる。
- (3) 様々な文章を読み、内容や要旨を的確にとらえることができる。
- (4) 学年別配当漢字を読んだり書いたりし、文の中で使うことができる。

3 評価について

<「知識・技能」、「思考・判断・表現」の評価>

評価観点	主な学習内容	
知識・技能	○言葉の働き ○話し言葉と書き言葉 ○漢字 ○語彙 ○文法 ○表現の技法 ○情報と情報の関係（原因と結果、意見と根拠、具体と抽象など） ○歴史的仮名遣い、現代語訳 ○書写	
思考・判断・表現	話すこと 聞くこと	○話題の設定 ○情報の収集 ○内容の検討 ○表現の工夫 ○話し合いの進め方の検討
	書くこと	○題材の設定 ○構成の検討 ○記述 ○推敲 ○共有
	読むこと	○内容の把握 ○解釈（内容・形式） ○考えの形成 ○共有

<「主体的に学習に取り組む態度」の評価>

評価観点	評価の例
粘り強さ	・考えを確かなものにするため、班員と積極的に話し合っている。 ・自分の思いが伝わる文章になるよう、何度も見直し、書き直している。
学習の調整	・授業を振り返り、できたことや分かったことを客観的に理解している。 ・学習のゴールに向かい、計画的に学習を進めている。

4 学習計画・学習内容

月	1 学年	2 学年	3 学年
4	○言葉に出会うために （詩）野原はうたう ○学びをひろく （物語）はじまりの風 （言葉）漢字の組み立てと部首	○広がる学びへ （詩）見えないだけ （小説）アイスプラネット （古文）枕草子	○深まる学びへ （詩）世界はうつくしいと （小説）握手 （漢文・解説）学びて時に之を習ふ
5	○新しい視点で （説明）ダイコンは大きな根？ （説明）ちょっと立ち止まって	○多様な視点から （説明）クワゼミ増加の原因を探る （情報）情報を整理して伝えよう	○視野を広げて （論説）作られた「物語」を超えて （言葉）熟語の読み方

	(文法) 言葉のまとまりを考えよう		(表現) 論理の展開を意識して書こう
6	硬 筆		
7	○言葉に立ち止まる (詩) 空の詩三編 (言葉) 指示する語句と接続する語句 (言葉) 語彙を豊かに	○言葉と向き合う (短歌) 短歌を味わう (随筆) 言葉の力 (言語) 類義語/対義語/多義語	○言葉とともに (俳句・解説) 俳句の可能性 (俳句) 俳句を味わう (随筆) 言葉の釣り糸を垂らす (言葉) 和語・漢語・外来語
9	○いつも本はそばに (読書活動) 読書を楽しむ (物語) 本の中の中学生	○いつも本はそばに (読書活動) 読書を楽しむ (物語) 翻訳作品を読み比べよう	○いつも本はそばに (読書活動) 読書を楽しむ (小説) 羊と鋼の森
10	○心の動き (小説) 星の花が降るころに (物語) 大人になれなかった弟たちに… (表現) 読み手の立場に立つ	○人間のきずな (小説) ヒューマノイド (随筆) 字のない葉書 (表現) 表現を工夫して書こう	○状況の中で (詩) 挨拶 (小説) 故郷 (言葉) 慣用句・ことわざ・故事成語 (言葉) 漢字の造語力
11	○筋道を立てて (記録) 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ (表現) 根拠を明確にして書こう	○論理を捉えて (論説) モアイは語る (表現) 適切な根拠を選んで書こう	○自らの考えを (論説) 複数の意見を読んで、考えよう (表現) 考えを効果的に伝えよう (詩) 初恋
12	○いにしえの心にふれる (古文・音読) いろは歌 (古文) 蓬萊の玉の枝 (漢文) 今に生きる言葉	○いにしえの心を訪ねる (古文) 扇の的 (古文) 仁和寺にある法師 (漢詩・解説) 漢詩の風景	○いにしえの心を受け継ぐ (古文・音読) 古今和歌集 仮名序 (古文) 君待つと (古文) 夏草
	書 き ぞ め		
12	○価値を見いだす (意見) 「不便」の価値を見つめ直す (表現) 話題や展開を捉えて話し合おう	○価値を語る (評論) 君は「最後の晚餐」を知っているか (解説) 「最後の晚餐」の新しさ (表現) 立場を尊重して話し合おう	○価値を生み出す (論説) それでも、言葉を (言葉) 漢字のまとめ (文法) 「ない」の違いがわからない?
1	○自分を見つめる (小説) 少年の日の思い出 (文法) 単語の性質を見つけよう	○表現を見つめる (小説) 走れメロス (表現) 描写を工夫して書こう	○未来へ向かって (随筆) 温かいスープ (詩) わたしを束ねないで
2	(言葉) 漢字の成り立ち (詩) ぼくがここに	(言葉) 話し言葉と書き言葉 (詩) 鍵	(詩) 初日
3	(表現) 一年間の学びを振り返ろう	(表現) 国語の学びを振り返ろう	(表現) 三年間の歩みを振り返ろう

令和7年度 数学科

達成目標

数量、図形などに関する基礎的な概念や原理・法則を理解し、基礎的な問題の数学的な表現や処理ができる。

※ 分数や小数の表現処理能力をふくめ、生徒の基礎的な問題を解く力が低下してきています。そのことを踏まえ、上記の目標が必要であると考えます。

授業における工夫

基礎基本の定着のための手立て

- ・ 基礎的、基本的な内容の確実な定着を目指し、ワークや小テストを行います。
- ・ アクティブタイムでスモールティーチャーを設定し、教え合い活動を実施します。
- ・ 3学年で少人数授業を実施し、個別に指導を行います。

活用力の向上のための手立て

- ・ 数学的活動の楽しさ、数学的な見方や考え方の良さを知り、進んで活用する態度を育てます。
- ・ 問題解決の過程を通して、既習事項を振り返ることや、既習事項を活用して問題を解決する活動を取り入れます。

学習内容

月	1 年	2 年	3 年
4	1 正の数・負の数	1 式の計算	1 式の展開と因数分解
5	(正の数・負の数の計算)	(文字式の利用) 2 連立方程式	(式の計算の利用)
6	(正の数・負の数の利用) 2 文字の式	(連立方程式の利用)	2 平方根 (根号を含む式の計算)
7	(文字式の計算)	3 一次関数 (一次関数とグラフ)	3 二次方程式 (二次方程式の利用)
9	3 方程式	(一次関数と方程式, 利用)	4 関数 $y=ax^2$
10	(方程式の利用) 4 変化と対応 (関数, 比例)	4 図形の調べ方 (平行と合同)	(いろいろな事象と関数) 5 図形と相似
11	(反比例, 利用) 5 平面図形 (直線と図形)	(証明) 5 図形の性質と証明 (三角形)	(平行と線分の比) (相似な図形の計量, 利用)
12	(移動と作図, 円とおうぎ形)	(四角形)	6 円の性質 (円周角と中心角)
1	6 空間図形		7 三平方の定理
2	(立体の体積と表面積)	6 場合の数と確率	8 標本調査
3	7 データの活用 (ヒストグラムと相対度数, 確率)	7 箱ひげ図とデータの活用	

理 科

達成目標

- 自然の事物・現象に対して目的意識をもって観察・実験を行うことができる。
- 科学的に探究する上で必要な実験器具の操作や薬品の取り扱いについての理解を深める。
- 自然の事物・現象に対して科学的な見方や考え方ができる。



授業における工夫

- できるだけ身近な材料・現象などを取り上げることで、実験・観察とのつながりを深め、題材の内容についての目的意識を高めます。
- 適切な実験器具操作や正しい薬品の扱い方を確認した上で実験・観察を行います。
- 実験・観察後のまとめの活動等を通して、科学的な見方・考え方を高めます。

学 習 内 容

月	1 年	2 年	3 年
4	【自然の中にあふれる生命】 【いろいろな生物とその共通点】 植物の特徴と分類	【化学変化と原子・分子】 物質の成り立ち 物質の表し方 さまざまな化学変化	【生命の連続性】 生物のふえ方と成長 遺伝の規則性と遺伝子 生物の種類の多様性と進化
5	動物の特徴と分類	化学変化と物質の質量	【化学変化とイオン】 水溶液とイオン
6	【身のまわりの物質】 いろいろな物質とその性質	【生物の体のつくりとはたらき】 生物の体をつくるもの	電池とイオン
7	いろいろな気体とその性質	植物の体のつくりとはたらき	酸・アルカリと塩
9	水溶液の性質 物質のすがたとその変化	動物の体のつくりとはたらき 動物の行動のしくみ	【運動とエネルギー】 力の合成と分解 物体の運動
10	【光・音・力による現象】 光による現象	【電流とその利用】 電流の性質	仕事とエネルギー 多様なエネルギーとその移り変わり エネルギー資源とその利用
11	音による現象 力による現象	電流の正体 電流と磁界	【宇宙を観る】 地球から宇宙へ 太陽と恒星の動き
12	【活きている地球】 身近な大地 ゆれる大地 火をふく大地	【地球の大気と天気の変化】 地球をとり巻く大気の様子 大気中の水の変化	月と金星の動きと見え方
1	語る大地	天気の変化と大気の動き 大気の動きと日本の四季	【自然と人間】 自然界のつり合い さまざまな物質の利用と人間 科学技術の発展 人間と環境 持続可能な社会を目指して
2			
3			

社 会

達成目標

- 地理的分野**…①世界の主な国名(50カ国程度)と日本の47都道府県の名称と場所、合わせて、世界と日本の大まかな地形を理解し、地図に表すことができる。
②世界と日本の諸地域の気候や人口、産業などの特色を理解し、そこに暮らす人々の生活の特色を考えることができる。
- 歴史的分野**…①時代の大きな流れを理解し、時代区分と各時代の特色を簡単に説明することができる。
②時代の特色となる出来事や文化、人物などを年表に当てはめることができる。
- 公民的分野**…①政治や経済、社会的事象に関する基本的用語を理解し、説明することができる。
②環境問題や貧困問題など国際社会の諸課題について探求し、自分の考えをまとめることができる。



授業における工夫

- 单元ごとに小テストやまとめのレポート等を実施し、基礎・基本的な知識の定着を図ります。
- 学習課題や授業における問いを工夫し、思考ツールを活用しながら自分の意見や考えをまとめる活動を取り入れることで、考える力や表現する力を高めます。
- ICTの活用や新聞記事、地域教材等を活用することで、興味・関心を高め、主体的に取り組めるようにします。

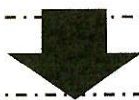
学習内容

月	1 年	2 年	3 年
	地理的分野・歴史的分野		歴史的分野・公民的分野
4	○持続可能な社会の実現に向けて 1編1章 世界の姿 1編2章 日本の姿 2編1章 世界各地の人々の生活と環境	4章 近世の日本 ・ヨーロッパ人との出会いと全国統一 ・江戸幕府の成立と対外政策 ・産業の発達と幕府政治の動き	6章 二度の世界大戦と日本 7章 現代の日本と私たち 歴史のまとめ
5			
6	○持続可能な社会の実現に向けて 1章 歴史へのとびら 2章 古代までの日本 ・世界の古代文明と宗教のおこり ・日本列島の誕生と大陸との交流 ・古代国家の歩みと東アジア世界	3編1章 地域調査の手法 3編2章 日本の地域的特色と地域区分 3編3章 日本の諸地域 ・九州地方 ・中国・四国地方 ・近畿地方 ・中部地方 ・関東地方 ・東北地方 ・北海道地方 3編4章 地域の在り方	○持続可能な社会の実現に向けて 1章 現代社会と私たち ・現代社会の特色と私たち ・私たちの生活と文化 ・現代社会の見方や考え方 2章 個人の尊重と日本国憲法 ・人権と日本国憲法 ・人権と共生社会 ・これからの人権保障 3章 現代の民主政治と社会 ・現代の民主政治 ・国の政治の仕組み ・地方自治と私たち 4章 私たちの暮らしと経済 ・消費生活と市場経済 ・生産と労働 ・市場経済の仕組みと金融 ・財政と国民の福祉 ・これからの経済と社会 5章 地球社会と私たち ・国際社会の仕組み ・さまざまな国際問題 ・これからの地球社会と日本 終章 より良い社会を目指して
7			
9			
10			
11			
12	2編2章 世界の諸地域 ・アジア州 ・ヨーロッパ州 ・アフリカ州 ・北アメリカ州 ・南アメリカ州 ・オセアニア州	5章 開国と近代日本の歩み ・欧米における近代化の進展 ・欧米の進出と日本の開国 ・明治維新 ・日清・日露戦争と近代産業	
1			
2	3章 中世の日本 ・武士の政権と成立 ・ユーラシアの動きと武士の政治の展開		
3			

外国語

達成目標

- 1年：あいさつ、自己紹介、他の表現活動を通して、自分のことや身の回りのことについて伝えたり聞いたりすることができる。
- 2年：身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書いたり、伝えたりすることができる。
- 3年：与えられたテーマについて内容を整理して書いたり、伝えたりすることができる。さらに、様々な考えや意見などを伝え合うことができる。



授業における工夫

- 定期的に小テストやまとめの問題を実施し、表現（英作文）、知識（基本文、単連語等の理解）、本文の内容、リスニングの定着を図ります。
- 全学年とも系統立てた課題への取り組みを徹底します。
- 1学年においては、少人数指導等を活用したきめ細やかな指導で思考力・判断力・表現力の向上を目指します。

学 習 内 容

月	1 年	2 年	3 年
4	- あいさつ、自己紹介 - 春休みの出来事を伝える - アルファベット	- 日記から出来事や感想などを読み取る - 日記に出来事や感想などを書く	- 学校紹介の記事から質問の答えに必要な情報を読み取る - 記事について意見を発表する
5	- 自己紹介カードに自分の情報を書く - 興味のあることをたずね合う	- 友達の話聞いて必要な情報を聞き取る - 希望や意見を伝え合う	- 留守番電話を聞いて返答する - 話し合いを聞いて、相手の意見の要点をとらえる
6	- インタビューから、したいことなどを聞き取る - 夏休みにしたいことについて話す	- メール文を読み取る - 未来のことを伝える言い方を整理する	- ある人物の手記を読み、おおまかな内容をとらえる - 過去とつながりのある現在の状態を伝える言い方を整理する
7	- 説明文からクイズの解答に必要な情報を読み取る - 自分と相手のことを伝える言い方を学ぶ	- 飲食店で注文をする - 相手に合う観光プランを提案する	- 伝記を読み、内容について自分の言葉で説明をする - 話し合いの中で意見をまとめる
9	- 人物紹介から情報を聞き取る - 身近な人などについて、基本的な情報を紹介する	- グルメの紹介記事から必要な情報を読み取る - 町の名物の魅力を説明する	- 投稿文から、それぞれの意見の要点を読み取る - 説明文の要旨を読み取り、自分の考えを書く
10	- 時間や場所などを読み取ったり、たずね合ったりする - 疑問詞、代名詞について理解する	- 災害時に必要なことを知る - 体調をたずねたり、助言したりするやり取りをする	- レシピから必要な情報を読み取る - プレゼンテーションから概要をとらえる
11	- 身近な人の基本的な情報を伝える紹介文を書く - 買い物や注文のやり取りをする	- 分かりやすい文章構成で紹介記事を書く - 文と文をつなぐ言葉を整理する	- 講演を聞いて要点を捉え、感想を書く - おすすめの作品について、詳しい情報を伝え合う
12	- 行き方をたずねたり、伝えたりする - 疑問詞を使ったいろいろな疑問文とその答え方を理解する	- 自分の意見や考えを伝える - 世界で活躍する人について知る	- 名詞の後ろに説明を追加する言い方を整理する - 情報をもとに考えを整理して伝える
1	過去の出来事や感想などを伝えるはがきを書く	- ポスターのおおまかな内容をとらえる - 何かを比べて説明する	- スピーチを聞いて、伝えている内容の要点をとらえる - 伝え方を工夫して、思いが伝わるスピーチをする
2	場面の様子が伝わるように、起こっていることを説明する	- 手紙の返事を書く - 何かをされていると説明する	- 現実とは違う仮定の話をする言い方を整理する - 自分の気持ちを伝える手紙を書く
3	- イベントや学校を紹介する - 物語からあらすじを読み取る	- 説明や描写をする - ブログを読んでおおまかな内容をとらえる	- 大切な人や自分に宛てて、気持ちを表現する - 物語の一部を読み、大まかな内容をとらえる

令和7年度 音楽科

達成目標

- (1) 自分のパートの音を正しく歌ったり、演奏したりすることができる。
- (2) 音楽を形づくっている要素を理解し、表現を工夫することができる。
- (3) 音楽のよさや美しさを味わって鑑賞することができる。



授業における工夫

- 合唱では、パート練習を計画的に取り入れ、歌い合わせる楽しさや音楽活動への関心を高めます。
- 表現の活動や鑑賞の活動を通し、音楽に対する豊かな感性を育みます。
- 実技テストを実施し、よりよい音楽表現への関心を高めます。

学習内容

月	1 年	2 年	3 年
4	○新しい仲間と歌おう ・校歌	○新しい仲間と歌おう ・校歌 ・翼をください	○新しい仲間と歌おう ・校歌
5	○鑑賞 1 ・春	○鑑賞 1 ・フーガト短調	○日本の歌 ・花
6	○創作 ・リズムアンサンブル	○合唱の響き(音楽会の取組)	○鑑賞 1 ・ブルタバ
7	○合唱の響き(音楽会の取組) ・学年合唱 クラス合唱	・学年合唱 クラス合唱	○合唱の響き(音楽会の取組) ・学年合唱 クラス合唱
9	・あとひとつ	○鑑賞 2 ・オペラ「アイーダ」	○鑑賞 2 ・能「敦盛」
10	○鑑賞 2 ・魔王	○世界の音楽 ・サンタルチア	○世界の音楽 ・帰れソレントへ
11	○日本の歌 ・赤とんぼ	○創作 ・リズムアンサンブル	○鑑賞 3 ・ボレロ
12	○鑑賞 3 ・箏曲「六段の調」	○鑑賞 3 ・歌舞伎「勸進帳」	○式歌への取組 ・三年生の卒業式歌唱曲 ・旅立ちの日に
1	○日本の楽器(箏) ・「さくらさくら」	○日本の歌 ・荒城の月	
2	○鑑賞 3 ・雅楽「平調 越天楽」	○式歌への取組 ・三送会合唱曲 ・旅立ちの日に	
3	○式歌への取り組み ・三送会合唱曲 ・旅立ちの日に		

美術

達成目標

- 自分を見つめ、自分の思いを作品として表現できるようにする。またそのために必要な技術、知識を身につける。
- 描いたり、作ったりする以外に見て感じたことや、自分の考えを言語活動を通して表せる。
- 日本の文化のよさを理解すると共に、他の国の文化や多様な価値観に興味をもち、よさを感じる心を育てる。



授業における工夫

- 題材ごとにワークシートを通して「題材のねらい」や「学習目標」等を明確にして生徒に知らせるとともに、毎時間の目標を「制作のあゆみ」によって明確にすることで、生徒自ら計画的に目標に向かい、何を身につけていかなければならないかが分かるようにしています。
- 制作工程の詳細や参考作品などを、ICT 機器を用いて画像や動画を示し、より分かりやすく理解できるようにしています。
- 自分を見つめ、自分の思いを表現するために、「文字アート」(1年)「My Dream World」、「自分再発見」(2年)「心の風景」(3年)など、自分自身を見つめることのできる題材を設定し、創造活動への関心・意欲を高めています。

学習内容

学期	1 年	2 年	3 年
1	○ オリエンテーション ・授業、評価について ○ 「色彩学習」 ・色の整理、色相環 ・グラデーションの学習 ○ 「花は歌う 蝶は踊る」 ・花や帳をモチーフとしたデザインの制作 ・身近植物の美しさ、形のおもしろさを捉える ・グラデーションの技法やポスターカラーの使い方の習得	○ オリエンテーション ・授業、評価について ○ 「一瞬の光をとらえて」 ・光と影が印象的な風景の選択 ・遠近感を表現する工夫 ・様々な描画材料を生かす ・陰影の効果的な表現 ・場面に合った配色や自分の想いを表わす色彩の工夫	○ オリエンテーション ・授業、評価について ○ 「奈良・京都の美術にふれよう」 ・修学旅行の事前学習として古都の文化財の鑑賞 ○ 「ゼンタングルアート」 ・模様を生かしたデザインの工夫 ・模様の形、大きさ、重ね方による立体感を表す工夫 ・鉛筆で明暗をつける
2	○ 「使いたい！お気に入りの焼き物」 ・機能と美しさを備えたデザインの工夫 ・粘土の可塑性を生かし身近な用具を用いてパーツごとに制作 ○ 「レタリングを学ぼう」 ・レタリング（明朝体、ゴシック体）	○ 「心に映る瞬間」 ・思い描く風景を立体にデザインする ・遠近感を表現する工夫 ・様々な材料を生かす ・粘土の可塑性を生かす ・場面に合った配色 ・材料の工夫 ○ 「キュビズムの世界に触れる」 ・時代の背景と美術の流れの関わり ・ピカソの生き方と作品	○ 「Wrapping light」 ・光の透過性を効果的に生かしたデザイン、素材、色彩、制作方法の工夫 ・機能と美しさを備えたデザインの工夫 ・素材の加工方法の工夫 ・用具の正しい使い方
3	○ 「文字アート」 ・漢字のもつ意味をより強める絵とのコラボレーション ・ポスターカラーの塗り方、道具の使い方 ○ 「印象派の誕生」 ・印象派の特徴 ・浮世絵との関わり	○ 「14歳の自画像」 ・自画像のデッサン ・頭部のプロポーション ・形を比較して正確に描く力、見方 ・陰影のつけ方	○ 「響き合う言葉と絵」 ・3年間を振り返り、自分の想いを探る ・言葉と絵で自分の想いを伝える工夫 ・これまで学んだ様々な表現方法から自分に合った方法を選択

保健体育

達成目標

体育分野(運動領域)や保健分野には「する・見る・支える・知る」という学習へのかかわり方があります。単純に運動したり覚えたりすることだけでなく、仲間をサポートすることや運動することについて科学的・合理的に理解することも必要です。そうすることでより一層、知識や技能、関心等が深まります。運動や健康は自分自身の人生を豊かにするものであることを学び、生涯にわたるスポーツライフを実現するための資質・能力を身につけましょう。



授業における工夫

- ・ 単元ごとにスキルテストを実施し、技能や体力の達成状況を確認します。
- ・ 補強運動を積極的に取り入れ、技能や体力の向上を図ります。
- ・ リーダーを中心としたグループ活動やペア学習を活発にし、教え合いの場を設定します。
- ・ つまづきに対して、個人指導を充実させます。
- ・ オリエンテーションやまとめの時間を充実させ、明確な目標をもたせるとともに、達成感や成就感を味わえるようにします。
- ・ 授業開始の挨拶や導入で生徒の気持ちを盛り上げ保健体育に取り組む姿勢を作ります。
- ・ 集団行動や決まりを守る等の規律を高め、授業における「安全・安心」「運動量」を確保します。

学習内容 (行事の変更、天候等によって変更することもあります)

	1 年		2 年		3 年	
	体 育	保健	体 育	保健	体 育	保健
4	○体づくり運動 (新体力テスト) 自分の体力の現状 を知り一年間の運 動の目標をたてる	健康 な生 活と 疾 病 の 予 防	○体づくり運動 (新体力テスト) 自分の体力の現状 を知り一年間の運 動の目標をたてる	健康 と 環 境	○体づくり運動 (新体力テスト) 自分の体力の現状 を知り一年間の運 動の目標をたてる	健康 な生 活と 病 気 の 予 防
5	○ソフトボール ○マット運動 ○走り幅跳び		○ソフトボール ○マット運動 ○走り幅跳び		○ソフトボール ○マット・跳び箱 ○走り幅跳び・高跳び 2 選択。	
6						
7		心身 の機 能の 発達 と心 の健 康				
9	○陸上・短距離 ○ダンス をローテーション で行う。		○陸上・短距離 ○ダンス をローテーション で行う。		○陸上・短距離 ○ダンス ○卓球 2 選択	
10	○ハンドボール ○バドミントン ○柔道 をローテーション で行う。		○ハンドボール ○バドミントン ○柔道 をローテーション で行う。		○ハンドボール ○バドミントン ○柔道 から 2 選択	
11						
12	○陸上競技 長距離走		○陸上競技 長距離走		○陸上競技 長距離走	
1	○サッカー ○バスケットボール をローテーション で行う。		○サッカー ○バスケットボール をローテーション で行う。		○サッカー ○バスケットボール をローテーション で行う。	
2	体づくり運動 ○からだほぐしの 運動		体づくり運動 ○からだほぐしの 運動			
3	○体力を高める運動		○体力を高める運動			

技術・家庭 —技術分野—

達成目標（確実に身に付けよう!）

- 1年生の目標・・・生活の中で使用する木工製品を製作を通して、ものづくりの基礎的・基本的な知識と技能を身につけさせます。また、生活と技術のかかわりについて理解させると共に、生活に技術を活用する能力と態度を育成します。
- 2年生の目標・・・エネルギー変換を利用した製作品の製作を通して変換方法や力の伝達のしくみを知り電気回路の配線・点検ができるようにします。また、ワープロの操作や表計算ソフトの利用を通してコンピュータの活用に関する基本的な知識と技術を習得すると共に、コンピュータの果たしている役割について理解を深め、それらを適切に活用する能力を育てます。
- 3年生の目標・・・トマトの栽培を通して、その生育過程と栽培に適する環境条件を知り、栽培に即した計画を立て作物の栽培ができるようにします。また、計測・制御する目的や条件に応じて情報処理の手順を考え、簡単な計測・制御をするためのプログラムを作成する能力を育てます。

授業における工夫

○技術とものづくり

- ・基本的な道具の使い方を実習を多く取り入れ学びます。
- ・けがき材料の見本を用意し、各自の作品と比較できるようにします。
- ・見本や完成品を用いて構成部品についてわかるようにします。生徒全員が完成できるよう支援をします。
- ・栽培において育てやすいものを選び収穫できるようにします。

○情報とコンピュータ

- ・学習テキストに従って、基本操作の練習を行い、操作技能を高めていきます。
- ・ネット検索を通じてデータの種類や加工法、特徴を学びます。
- ・具体的な情報発信を通して、話し合いを行い、情報モラルについて意識を高めます。

令和4年度 学習内容

月	1 年	2 年	3 年
4	家庭分野の学習 (10 月半ばから技術に変わります) (1) ガイダンス 身の回りの技術。技術の発達。 これからの学習について学びます。 (2) 材料の使われ方を調べます。 (3) 作りたいものを考え、構想をまとめます。(製図ができる) (4) 木製品の製作をします。 ・材料の加工(さしがね、のこぎり、げんのう、ヤスリなどを使用します) ・組み立て(げんのう、くぎ、接着剤を使用します) ・仕上げ(塗装、ニス塗り) (5) 自己評価をします。	(1) エネルギー変換(電気)について学習します。 ・発電方法 ・交流と直流、周波数、定格電圧、定格電流、たこ足配線など電気の安全な利用法。	(1) コンピュータによるプログラム制御の学習で使用する教材の製作
5		(2) ラジオの制作をします。 (はんだごて、回路計を使用)	(2) バジルの栽培をします。
6		(3) 自己評価をします。	・作物がよく育つ環境 ・よい土づくり ・病害虫の駆除 ・摘芽・摘しん ・支柱立て ・施肥
7		(4) コンピュータについての知識(操作)を学習します。 ・文書(ワープロ・表計算ソフト)の制作を通して、文字の入力、表作り、印刷などを学習します。	(3) 作業記録の記入
9		(5) 情報モラルの学習をします。 ・個人情報や著作権の重要性を学習します。 ・コンピュータがもたらす新しい社会について考えます。	(4) コンピュータによるプログラム制御の学習
10		家庭分野の学習 (10 月半ばから家庭科に変わります)	(5) 自己評価をします。
11			家庭分野と交互で授業を行います。
12			
1			
2			
3			

技術・家庭（家庭分野）

達成目標

<生活の自立と衣食住>

○日常着の活用と手入れの仕方がわかり、生活に役立てることができる。

○身近な食材を使った簡単な調理ができる。

○健康で安全に住まうために、室内環境を整えることができる。

<家族と家庭生活>

○家族の一員としての自覚をもって生活することができる。

○高齢者や幼児などの立場を理解し、思いやりのある行動をとることができる。

授業における工夫

(1) 生活の自立と衣食住

○生活の自立、毎日の生活に必要な衣服、食、住居に関わる知識と簡単な縫製技能や調理技能を、実習や製作などの体験を通して身に付けさせることを目指します。

(2) 家族と家庭生活

○幼児とのふれあい学習を通して幼児の特性を理解させるとともに思いやりや感謝の心を育てることを目指します。

学習内容

月	1 年	2 年	3 年
4	○ガイダンス ・自分の成長	技術分野の学習	○中学生になるまで ・私の成長と家族や周囲の人々
5	○家族・家庭生活での自立 ・家庭生活の協力・協同		○子どもの成長 ・幼児の生活と遊び
6	○私たちの衣生活 ・衣服の役割・私らしさと TPO ・日本の衣服の文化 ・衣服の手入れ ・衣服計画と必要な衣服の選択・制作		・幼児の体、心、生活習慣 ○幼児との交流 ・幼児と遊び
7	↓ 技術分野の学習		・幼児の喜ぶものを作ろう
9			↓
10			
11			
12			
1		○食生活と栄養 ・食事の役割を考える ・栄養素の種類と働き ○献立作りと食品の選択 ・6つの食品群 ・1日分の献立作り・食品の選び方 ○調理の基礎 ○日常食の調理 ・野菜、肉、魚を調理しよう ○地域の食文化	○私たちの消費生活 ・商品の選択と購入 ・様々な販売方法と支払い方法 ・消費者トラブルの解決 ・消費者の権利と責任
2		○私たちの住生活 ・住まいの役割・家族と住まい ・家庭内事故に備える ・災害に備える ・よりよい住生活	
3			

総合的な学習の時間

達成目標

探求的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探求的な学習過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求的な学習のよさを理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする
- (3) 探求的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

授業における工夫

<ベース学習>

課題設定方法・資料集めの方法・図書館やインターネットの使い方・インタビューの仕方・まとめ方・発表の仕方など、追究の方法を身に付ける基礎的な学習を1年時の最初に行います。

<テーマ学習>

1年時に身に付けた様々な力を生かし、学年ごとに設定されたテーマについて深めるために、自ら課題を設定し、調査・追究をしていく学習をします。

<行事に向けた取組>

様々な学校行事の成功を成功させるために、総合的な学習の時間を有意義に活用します。

学習内容

	第1学年	第2学年	第3学年
月			
4月	●学び方学習 ・総合的な学習の時間のねらいと授業計画の説明	●学び方学習 ・総合的な学習の時間のねらいと授業計画の説明	●学び方学習 ・総合的な学習の時間のねらいと授業計画の説明
5月	・個人テーマの課題設定方法 ・パソコンの操作方法、インターネットの使い方	●生き方学習 ・2 days社会体験チャレンジ(職場体験) ・希望する職業について ・対人マナーについて ・電話のかけ方 ・話し方、受け答え	学年テーマ「文化」 ●日本の伝統文化について考える ・修学旅行に向けての取り組み ・班別行動プランをたてる。 ・旅行後、報告・感想レポートをまとめ発表
6月	・図書室の使い方、図書の調べ方 ・インタビューの仕方		
7月	・新聞やレポート作成とまとめ方 ・統計資料の読み方と統計のグラフ化 ・発表の仕方、聞き方		
9月	●地域について学ぶ ・個別テーマの設定と調査計画の作成 ・小グループ編成と調査計画の修正	・2日間のまとめ ●生き方学習② ・上級学校について知る。 ・中学校卒業後の進路にはどのようなものがあるのかを知る。 ・様々な学校について調べ、進路への意識を高める。	●生き方学習① ・将来を見据え、自分の進路について、具体的に考える。
10月	・追究活動(校外での調査や体験、観察等も含む) ・中間発表会(追究活動の経過報告、学び方等の共有と高め合い) ・再追究活動(新たな疑問や視点での調査、校外での調査や体験・観察等も含む) ・発表会に向けた準備、原稿作成、発表資料等の作成 ・発表会と「地域」テーマのまとめ	●自律 ○校外学習に向けての取組 ・調べ学習 ・班別行動プランをたてる ・修学旅行事前学習(校外学習)のまとめのレポートを作成する ・発表会	●自由テーマ学習 ・個別テーマの確認 ・課題の設定 ・課題解決への見通し ・追究活動 ・追究活動計画の修正 ・再追究活動(新たな疑問や視点での調査) ・卒業論文のまとめ ・発表会の準備 原稿の作成 ・クラス発表会
11月	●体力向上・スポーツ学習 ・スキー教室に向けての取組 ・班で分担して調べ学習を行う。 ・「スキー」について ・用具、注意点など ・「雪」について ・「地域の特産物」など ・集団行動など		
12月		●生き方学習③ ・中学校卒業後の進路について考える。 ・進路学習会を通して高校について知る。 ・卒業生と語る会から1年後の自分の進路に向けた取組を考える ●修学旅行事前学習 ・班別行動について ・コースづくりの方法等	●生き方学習② ・卒業に向けての準備をする。 ・自らの進路に向き合って、人生について考える。 ・レポート(自分史)にまとめる。
1月	・スキー教室のまとめをする。 ・好きなスポーツについて ・生涯スポーツについて		
2月			
3月	●生き方学習 ・将来の希望について考える。		

道徳

達成目標（確実に身に付けよう！）

- ・相手に対する思いやり、感謝の心をもつ。
- ・かけがえのない自他の生命の大切さを自覚する。
- ・社会のルールを守り、自ら社会に関わっていくことのできる力を身に付ける。



授業における工夫

- ・各教科、特別活動などとの関連付けを強めた道徳の授業を展開します。
- ・自己理解（自分はどんな人間か）、他者理解（相手はどんな人間か）、道徳的価値の理解（人が生きる上で大切なことは何か）を考えさせる指導をします。
- ・基本的生活習慣の指導を行います。

学 習 内 容

月	1 年	2 年	3 年
4	難しい宿題 サッカーの漫画を描きたい 人のフリみて “村人B”には……	おじさん役と私 おばちゃんのくれた“おまじない” 挨拶は言葉のスキンシップ 初心	相撲を世界に 世界一のロッカールーム あるレジ打ちの女性 使い手を驚かせて魅了する
5	「愛情貯金」をはじめませんか さかなのなみだ 言葉の向こうに	五月の風－カナ－ 五月の風－ミカ－ リスペクト アザース	違うんだよ、健司 卒業文集の最後の二行 命のトランジットビザ
6	葉っぱの絵で見た道 ばあば 木の声を聞く	名乗り出なかった友 戦争を取材する 時を超えて－檜野で生まれたきずな－	エリカ－奇跡のいのち－ 私も高校生 親友と語り合った「孤独の解消」
7	疾走、自転車ライダー 門掃き 使っても大丈夫？ ソウタとミオ	父の決意 和樹の夏祭り 他人の靴を履いてみる	No Charity, but a Chance! 新しい夏のはじまり 稲むらの火
9	私らしさって？ 震災を乗り越えて－復興した郷土芸能－ どうして？	ヨシト ネット将棋 樹齢七千年の杉 自分の弱さと戦え	命の大切さ ゴリラのまねをした彼女を好きになった カラフルな世界で
10	さよなら、ホストファミリー 違いを乗り越えて バスと赤ちゃん 三人の乗客	小さな工場の大きな仕事 上勝から世界を変える 美しい鳥取砂丘	二通の手紙 世界を動かした瞳 電車の中で
11	あらゆるものに神は宿っている あったほうがいい？ ふれあい直売所 あふれる愛	行動する建築家 坂 茂 夜のくだもの屋 アフガニスタンの人々と共に	失った笑顔を取り戻す 海のごみは「まちなか」で生まれる 「川端」のある暮らし
12	iPS細胞で難病を治したい その声は ゆうへー生きていてくれてありがとう－旗	制服は誰のもの 命を見つめて－猿渡瞳さんの六百四十六日－ 行く年、来る年 コトコの涙	ちょっと寄り道を－研究者・眞鍋淑郎－ 町内会デビュー 臓器提供 独りを慎む
1	裏庭での出来事 おじいさんの100ドル オーロー光のカーテン－	マークは何のために？ 最後のパートナー 避難所にて	マナーって何だろう 星空を届けたい 本とペンで世界を変えよう
2	オアシスの老人 私は清掃のプロになる 「肝心」のバスガイド	よみがえれ、えりもの森 足袋の季節 恋する涙	生きてこそ－石井筆子の生涯－ 塩むすび 一冊のノート
3	いつわりのバイオリン	包む きいちゃん	キラ－・ゼブラと呼ばれて サトシの一票 希望

特別活動

達成目標

- (1) 自分の考えや意見をきちんと伝えることができる。
- (2) 他者の意見を大切にしながら、建設的な話し合いができる。
- (3) 意識決定や合意形成によって決定した内容を、きちんと守って行動できる。

授業における工夫

- (1) 定期的に話し合い活動を実施します。その際に、意思決定や合意形成の場面を設定します。
- (2) 進路指導・キャリア教育は、各学年に応じて系統的に指導していきます。

学習内容

月	学校行事との関連	第1学年	第2学年	第3学年
4	始業式・入学式 学級開き 学級の組織づくり 新入生歓迎会 部活動への参加	①中学校生活の出発 ②中学校の学習 ③わたしたちの学級 ④学級目標と学級組織 ⑤体育祭を盛り上げよう ⑥よりよい食生活 ⑦中間テストの取り組み方 ⑧安全な登下校 ⑨学級の諸問題の解決 (係活動の見直し等)	①2年生になって ②わたしたちの学級 ③学級目標と学級組織 ④生徒会活動と部活動 ⑤体育祭を盛り上げよう ⑥学級の諸問題の解決 (係活動の見直し等) ⑦よりよい食生活 ⑧中間テストに向けて ⑨自転車と交通安全 ⑩学習と部活動の両立 ⑪働くことと学ぶこと 働くことの目的と意義 学ぶことの目的と意義 ⑫充実した学習生活 ⑬職業の世界 ⑭生命の誕生 ⑮1学期の反省と夏休みの過ごし方 ⑯職業体験学習を成功させよう	①最上級生としての自覚 ②学級目標と学級組織 ③計画的な学習 ④進路の選択に備えて1 ⑤生徒会活動を見直そう ⑥体育祭を盛り上げよう ⑦修学旅行を成功させよう ⑧学級の向上を目指そう ⑨よりよい食生活 ⑩進路選択の諸条件 ⑪修学旅行の反省をしよう ⑫進路の選択に備えて2 ⑬自分についてのまとめ ⑭1学期の反省と夏休みの過ごし方 ⑮進路の選択1 ⑯進路先の調査 ⑰自立と男女交際
5	体育祭 中間テスト 生徒総会 地区大会 期末テスト	⑩自転車と交通安全 ⑪学習と部活動の両立 ⑫将来の生き方と進路学習 ⑬中学生と歯の役割 ⑭1学期の反省と夏休みの過ごし方		
6	修学旅行			
7				
8				
9	職業体験学習	①夏休みの反省と2学期の心構え ②読書に親しもう (学校図書館の利用) ③働く人々 ④男女の協力 ⑤働く人々の仕事の考え ⑥音楽会を成功させよう ⑦学級生活の充実 ⑧自分を知る(人と個性) ⑨中学生に多い事故 ⑩心を結ぶボランティア活動 ⑪不安や悩みの解消 ⑫スキー学校を成功させよう ⑬2学期の反省と冬休みの過ごし方	①夏休みの反省と2学期の心構え ②係活動を見直そう ③職業の世界 (職業の内容と特色) ④男女の協力 ⑤学ぶための制度と機会 ⑥音楽会を成功させよう ⑦高等学校について調べよう ⑧学級生活の充実 ⑨生徒会役員改選に積極的に参加しよう ⑩心を結ぶボランティア ⑪学校生活における事故 ⑫班活動の反省と改善 ⑬薬物の乱用 ⑭2学期の反省と冬休みの過ごし方	①夏休みの反省と2学期の心構え ②学校図書館の利用を高めよう ③進路先の調査とまとめ ④進路の選択2 ⑤進路計画の最終検討 ⑥音楽会を成功させよう ⑦思春期の悩みを解決 ⑧進路の決定 ⑨係活動を見直そう ⑩意欲的な学習 ⑪進学・就職の準備 ⑫2学期の反省と冬休みの過ごし方
10	生徒会役員選挙 中間テスト 地区大会 校内音楽会 70周年記念芸術鑑賞会 生徒会引継式 期末テスト			
11				
12				
1	スキー学校 校外学習	①新年の抱負発表会 ②自分を知る(特性) ③3年生を送る会を成功させよう ④進路の計画の必要性 ⑤授業態度の向上 ⑥進路計画の立て方 ⑦学級の成長を確かめよう ⑧学級文集をつくろう ⑨性の欲求と行動 ⑩1年間を振り返って	①新年の抱負発表会 ②学級生活の充実 ③進路と適性 ④自分の適性 ⑤悩みとその解決 ⑥進路計画の検討と吟味 ⑦3年生を送る会を成功させよう ⑧学級の成長を確かめよう ⑨感染症とその予防 ⑩1年間を振り返って	①新年の抱負発表会 ②進路の選択 ③受験・受験の心構え ④将来生活への心構え ⑤卒業期を迎えて ⑥奉仕活動計画を立てよう ⑦明るい将来への準備 ⑧将来への生活展望 ⑨中学校生活のまとめ ⑩卒業記念の活動に取り組もう
2	期末テスト			
3	3年生を送る会 卒業式			

さくら学級 学習計画及び評価

1 学習計画



	さくら1・2・3組	さくら4・5組	さくら6組
教科・領域を合わせた指導	生活単元学習 実生活における様々な場面を通じて、全ての教科の内容を総合的に含んだ学習に取り組みます。 作業学習 紙工作や切り絵等の作業を通じて、役割や責任感、働くために必要な基礎学力を身につけ、また手先の巧緻性と集中力を高めます。		
領域の指導	日常生活学習 着替え・排泄・食事・持ち物の整理など、日常生活に直接関係する技能や知識を身につけます。	自立活動 障害に関連する生活上又学習上の困難(ハンディキャップ)を克服するために必要な知識・技術などを身につけます。 ※知的の学級も学習を行うことがあります。	
教科別の指導	国語 日常生活で用いる文字(かな・漢字)の読み書き・文章の読み取りなどを、個別に学習します。	国語 文章読解や助詞を学習し、コミュニケーション能力の向上を目指します。	国語 日常生活で用いる文字(かな・漢字)の読み書き・文章の読み取りなどを、個別に学習します。
	数学 日常生活を念頭に置き、個別に用意された課題で、基本を繰り返し学習します。	数学 個別の課題に繰り返し取り組み、基礎学力の定着を目指します。	数学 日常生活を念頭に置き、個別に用意された課題で、基本を繰り返し学習します。
	音楽 独唱・合唱・さまざまな楽器の演奏を通じて、豊かな感情表現を身につけるとともに、情操の発達を促します。		
	理科 様々な実験や観察を通して、「不思議だな？」という知的好奇心を育てます。		
	社会 様々な社会的事象についての課題を、主体的に解決する力を育てます。		
	美術 様々な道具や材料の使い方について、繰り返し取り組みながら身につけます。		
	体育 運動を続けることで体力を向上させ、健康な体を作ります。		
授業における交流		音楽 保健体育 等 (いずれも、生徒の実態に応じて実施します。)	
行事における交流		全ての学校行事・学年行事に、交流学級の一員として参加します。 (修学旅行・体育祭・音楽会・スキー学校 他)	

2 評価の観点及び方法

全ての授業の取り組みを教師が観察し、個別の指導計画における目標と照らし合わせながら、生徒一人一人の実態に応じた『絶対評価』を文章で表現します。